



↑建設中の伊唐大橋(長島本島側)



↑建設中の伊唐大橋(主桁の張り出し工事)



↑開通記念のトラクターパレード



↑開通時、馬跳び競走での渡り初め



↑伊唐小学校児童による竹太鼓



↑獅子島小中学校児童生徒による獅子島太鼓



↑開通時発行された「広報あづま」

## 伊唐大橋完成までの歩み

- 昭和54年 地元から町へ、伊唐島架橋建設陳情
- 昭和59年6月 町単独事業費で調査費1500万円を予算計上
- 昭和59年8月 伊唐島農業開発促進期成会発足
- 昭和60年5月 伊唐島農業開発促進期成会発足の直轄予算がつく
- 昭和62年2月 伊唐島農地開発事業着工
- 平成元年1月 伊唐島架橋(農面農道整備事業)着工
- 平成2年12月 架橋の橋脚部着工
- 平成3年8月 架橋工事安全祈願祭
- 平成7年3月 伊唐島架橋名称「伊唐大橋」に決定(応募総数4801通)
- 平成7年7月7日 伊唐大橋連結式、伊唐島と長島本島が陸続きに
- 平成8年8月2日 伊唐大橋開通、午後4時から一般供用開始「離島から半島へ」

8月2日、伊唐大橋公園で、伊唐大橋開通20周年を祝う記念式典が開催されました。

式は、長島中学校吹奏楽部の演奏で幕を開け、その後主催者を代表して川添町長があいさつ。来賓祝辞や祝電が披露されました。

式典の最後は、伊唐自治公民館長の竹山司郎さんが「伊唐大橋の建設の話が出たのは、私がまだ20代だった約40年前。話を聞いた当時は、夢物語のような感じであったが、夢を実現するために、集落が一体となって運動した。その約20年後、建設が決定し、とても喜んだ記憶がある。開通から20年が経過した。近年、日本の経済は低迷しているが、夢は必ず実現できると信じている。伊唐大橋と同様に、獅子島架橋の建設、そして三県架橋へと繋いでいきたい」とあいさつし、万歳三唱で式典は閉会しました。

式典終了後のアトラクションでは、伊唐小学校児童による竹太鼓、獅子島小中学校の児童生徒による獅子島太鼓の演奏が披露され、式典に花を添えました。